GRI内容索引

本報告書の内容および品質を確定するにあたり、GRIスタンダードの「GRI 101： 基礎 2016」に示された報告原則を参考にしています。

また、本報告書はGRIスタンダードが要求する開示事項の内容を参考とし、以下の選択した一部のスタンダード、もしくはその内容の一部を参照して報告しています。

GRIスタンダード	開示事項		開示場所	Web版URL	冊子版（PDF版）ページ
一般開示事項					
GRI 102： 一般開示事項2016	1. 組織のプロフィール				
	102-1	組織の名称	TOYO TIREの事業インパクト	-	P3
	102-2	活動、ブランド、製品、サービス	TOYO TIREの事業インパクト	-	P3
	102-3	本社の所在地	TOYO TIREの事業インパクト	-	P3
	102-4	事業所の所在地	TOYO TIREの事業インパクト	-	P3-4
	102-5	所有形態および法人格	TOYO TIREの事業インパクト	-	P3
	102-6	参入市場	TOYO TIREの事業インパクト	-	P3-4
	102-7	組織の規模	TOYO TIREの事業インパクト	-	P3-4
	102-8	従業員およびその他の労働者に関する情報	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	2018年度当社グループの従業員およびその他の労働者に関する情報	-
	102-9	サプライチェーン	CSR方針	TOYO TIREのステークホルダーエンゲージメント	-
	102-10	組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化	TOYO TIREの事業インパクト	-	P3
	102-11	予防原則または予防的アプローチ	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	方針	P11
	102-12	外部イニシアティブ	CSR方針	TOYO TIREのステークホルダーエンゲージメント	-
	102-13	団体の会員資格	CSR方針	TOYO TIREのステークホルダーエンゲージメント	-
	2. 戦略				
	102-14	上級意思決定者の声明	トップメッセージ	トップメッセージ	P5-6
	102-15	重要なインパクト、リスク、機会	TOYO TIREのバリューチェーンとSDGs	TOYO TIREのバリューチェーンとSDGs	P9-10
	3. 倫理と誠実性				
	102-16	価値観、理念、行動基準・規範	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	理念	P2
	102-17	倫理に関する助言および懸念のための制度	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	コンプライアンス推進体制	P30
	4. ガバナンス				
	102-18	ガバナンス構造	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	コーポレート・ガバナンス体制	P30
	102-19	権限移譲	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	コーポレート・ガバナンス体制	P30
	102-20	経済、環境、社会項目に関する役員レベルの責任	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	責任（2019年7月現在）	P11
			重点テーマ2.地球環境への貢献	責任（2019年7月現在）	P16
			重点テーマ3.人権と多様性の尊重	責任（2019年7月現在）	P20
			重点テーマ4.取引先との協働	責任（2019年7月現在）	P23
			重点テーマ5.地域社会との共生	責任（2019年7月現在）	P25
			重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	責任（2019年7月現在）	P27
	102-21	経済、環境、社会項目に関するステークホルダーとの協議	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	-
	102-22	最高ガバナンス機関およびその委員会の構成	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	コーポレート・ガバナンス体制	P30
	102-23	最高ガバナンス機関の議長	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	コーポレート・ガバナンス体制	P30
	102-24	最高ガバナンス機関の指名と選出	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	コーポレート・ガバナンス体制	P30
	102-25	利益相反	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	コーポレート・ガバナンス体制	P30
	102-26	目的、価値観、戦略の設定における最高ガバナンス機関の役割	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P31
	102-27	最高ガバナンス機関の集合的知見	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P31
	102-28	最高ガバナンス機関のパフォーマンスの評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P31
	102-29	経済、環境、社会へのインパクトの特定とマネジメント	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
	102-30	リスクマネジメント・プロセスの有効性	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30

GRIスタンダード	開示事項		開示場所	Web版URL	冊子版（PDF版）ページ
	102-31	経済、環境、社会項目のレビュー	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
	102-32	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
	102-33	重大な懸念事項の伝達	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	内部統制システム	P30
	102-35	報酬方針	有価証券報告書	役員の報酬等	-
	102-36	報酬の決定プロセス	有価証券報告書	役員の報酬等	-
	102-37	報酬に関するステークホルダーの関与	有価証券報告書	役員の報酬等	-
	5. ステークホルダー・エンゲージメント				
	102-40	ステークホルダー・グループのリスト	CSR方針	TOYO TIREのステークホルダーエンゲージメント	P8
	102-41	団体交渉協定	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	雇用の状況	-
	102-42	ステークホルダーの特定および選定	CSR方針	ステークホルダーとのエンゲージメントの機会	P8
	102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	CSR方針	TOYO TIREのステークホルダーエンゲージメント	P8
	102-44	提起された重要な項目および懸念	CSR方針	社外有識者へのヒアリング結果	-
				外部有識者コメント	P34
	6. 報告実務				
	102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	有価証券報告書	事業の内容	-
	102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	編集方針	項目の該当範囲	P2
	102-47	マテリアルな項目のリスト	CSR方針	重点テーマとあるべき姿（2014年5月策定）	P9
	102-48	情報の再記述	編集方針	報告概要	P2
	102-49	報告における変更	編集方針	報告概要	P2
	102-50	報告期間	編集方針	報告概要	P2
	102-51	前回発行した報告書の日付	編集方針	報告概要	P2
	102-52	報告サイクル	編集方針	報告概要	P2
	102-53	報告書に関する質問の窓口	編集方針	お問い合わせ先	P2
	102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張	編集方針	編集方針	P2
	102-55	内容索引	GRI内容索引	GRI内容索引	-
	102-56	外部保証	本報告書は独立第三者（外部の保証提供者）による保証は受けていませんが、報告書の品質向上を目的として、専門的知見を有する第三者からご意見をいただいております。	外部有識者コメント	P34
マテリアルな項目					
重点テーマ1：製品・サービスの信頼と革新 徹底した顧客志向に基づく製品品質の確保					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	優先的に取り組むべき課題	P11
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	マネジメント手法	P11
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 416：顧客の安全衛生2016	416-1	製品およびサービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	開発プロセスの質の向上	P12
	416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	-
GRI 417：マーケティングとラベリング2016	417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	各国の品質規格への対応	-
	417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	環境および社会経済分野における法規制遵守の状況	-
	417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	環境および社会経済分野における法規制遵守の状況	-
重点テーマ1：製品・サービスの信頼と革新 気候変動への適応、緩和への取り組み					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	優先的に取り組むべき課題	P11
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	マネジメント手法	P11
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 302： エネルギー2016	302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	気候変動リスクに対応する	P17
重点テーマ1：製品・サービスの信頼と革新 技術系人材の育成					

GRIスタンダード	開示事項		開示場所	Web版URL	冊子版（PDF版）ページ
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	優先的に取り組むべき課題	P11
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	マネジメント手法	P11
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 404： 研修と教育2016	404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	技術系人材育成	P15
	404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	技術系人材育成	P15
	404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	重点テーマ1.製品・サービスの信頼と革新	技術系人材育成	P15
重点テーマ2：地球環境への貢献 気候変動への適応、緩和への取り組み					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ2.地球環境への貢献	優先的に取り組むべき課題	P16
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ2.地球環境への貢献	マネジメント手法	P16
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 201： 経済パフォーマンス2016	201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	重点テーマ2.地球環境への貢献	気候変動による機会とリスク	P17
GRI 302： エネルギー2016	302-1	組織内のエネルギー消費量	重点テーマ2.地球環境への貢献	エネルギー消費量の削減	P17
	302-2	組織外のエネルギー消費量	重点テーマ2.地球環境への貢献	エネルギー消費量の削減	P17
	302-3	エネルギー原単位	重点テーマ2.地球環境への貢献	エネルギー消費量の削減	P17
	302-4	エネルギー消費量の削減	重点テーマ2.地球環境への貢献	エネルギー消費量の削減	P17
GRI 305： 大気への排出2016	305-1	直接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ1）	重点テーマ2.地球環境への貢献	温室効果ガス（GHG）の削減	P18
	305-2	間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ2）	重点テーマ2.地球環境への貢献	温室効果ガス（GHG）の削減	P18
	305-3	その他の間接的な温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ3）	重点テーマ2.地球環境への貢献	温室効果ガス（GHG）の削減	P18
	305-4	温室効果ガス（GHG）排出原単位	重点テーマ2.地球環境への貢献	温室効果ガス（GHG）の削減	P18
	305-5	温室効果ガス（GHG）排出量の削減	重点テーマ2.地球環境への貢献	温室効果ガス（GHG）の削減	P18
	305-6	オゾン層破壊物質（ODS）の排出量	重点テーマ2.地球環境への貢献	温室効果ガス（GHG）の削減	P18
	305-7	窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、およびその他の重大な大気排出物	重点テーマ2.地球環境への貢献	温室効果ガス（GHG）の削減	P18
重点テーマ2：地球環境への貢献 水リスク低減への取り組み					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ2.地球環境への貢献	優先的に取り組むべき課題	P16
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ2.地球環境への貢献	マネジメント手法	P16
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 303： 水2018	303-1	共有資源としての水との相互作用	重点テーマ2.地球環境への貢献	水リスク低減への取り組み	P18
	303-2	排水に関連するインパクトのマネジメント	重点テーマ2.地球環境への貢献	水リスク低減への取り組み	P18
	303-3	取水	重点テーマ2.地球環境への貢献	取水量・排水量の削減	P19
	303-4	排水	重点テーマ2.地球環境への貢献	取水量・排水量の削減	P19
	303-5	水消費	重点テーマ2.地球環境への貢献	取水量・排水量の削減	P19
GRI 306： 排水および廃棄物2016	306-1	排水の水質および排出先	重点テーマ2.地球環境への貢献	取水量・排水量の削減	P19
	306-5	排水や表面流水によって影響を受ける水域	重点テーマ2.地球環境への貢献	取水量・排水量の削減	P19
重点テーマ2：地球環境への貢献 資源循環の取り組み					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ2.地球環境への貢献	優先的に取り組むべき課題	P16
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ2.地球環境への貢献	マネジメント手法	P16
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 301： 原材料2016	301-1	使用原材料の重量または体積	重点テーマ2.地球環境への貢献	資源循環の取り組み	P19
	301-2	使用したリサイクル材料	重点テーマ2.地球環境への貢献	資源循環の取り組み	P19
	301-3	再生利用された製品と梱包材	重点テーマ2.地球環境への貢献	資源循環の取り組み	P19
GRI 306： 排水および廃棄物2016	306-2	種類別および処分方法別の廃棄物	重点テーマ2.地球環境への貢献	資源循環の取り組み	P19
	306-3	重大な漏出	重点テーマ2.地球環境への貢献	資源循環の取り組み	P19
	306-4	有害廃棄物の輸送	重点テーマ2.地球環境への貢献	資源循環の取り組み	P19

GRIスタンダード	開示事項		開示場所	Web版URL	冊子版（PDF版）ページ
重点テーマ3：人権と多様性の尊重 グローバル人権リスクへの対応					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	優先的に取り組むべき課題	P20
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	マネジメント手法	P20
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 412： 人権アセスメント2016	412-1	人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	人権の尊重	P21
	412-2	人権方針や手順に関する従業員研修	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	人権の尊重	P21
	412-3	人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約	省略　該当なし 2018年度、当社グループが人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約はありません。なお2019年1月に公表した人権労働方針に基づき、人権スクリーニング手法についても検討を行っています。	-	-
GRI 411： 先住民族の権利2016	411-1	先住民族の権利を侵害した事例	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	人権の尊重	P21
重点テーマ3：人権と多様性の尊重 国際習慣法に照らした労働基準の見直し					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	優先的に取り組むべき課題	P20
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	マネジメント手法	P20
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 401： 雇用2016	401-1	従業員の新規雇用と離職	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	雇用の状況	P21
	401-2	正社員には支給され、非正規社員には支給されない手当	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	雇用の状況	-
	401-3	育児休暇	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	雇用の状況	-
GRI 402： 労使関係2016	402-1	事業上の変更に関する最低通知期間	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	雇用の状況	-
GRI 405： ダイバーシティと機会均等2016	405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	雇用の状況	-
	405-2	基本給と報酬総額の男女比	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	雇用の状況	-
GRI 406： 非差別2016	406-1	差別事例と実施した救済措置	重点テーマ3.人権と多様性の尊重	人権の尊重	P21
GRI 407： 結社の自由と団体交渉2016	407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	省略　情報が入手困難 2018年度、結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所については確認できませんでした。なお2019年1月に公表した人権労働方針に基づき、リスクマネジメント手法についても検討を行っています。	-	-
GRI 408： 児童労働2016	408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	省略　情報が入手困難 2018年度、児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所については確認できませんでした。なお2019年1月に公表した人権労働方針に基づき、リスクマネジメント手法についても検討を行っています。	-	-
GRI 409： 強制労働2016	409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	省略　情報が入手困難 2018年度、強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所については確認できませんでした。なお2019年1月に公表した人権労働方針に基づき、リスクマネジメント手法についても検討を行っています。	-	-
重点テーマ4：取引先との協働 サプライチェーンマネジメント（社会・環境）					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ4.取引先との協働	優先的に取り組むべき課題	P23
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ4.取引先との協働	マネジメント手法	P23
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30

GRIスタンダード	開示事項		開示場所	Web版URL	冊子版（PDF版）ページ
GRI 308： サプライヤーの環境面のアセスメント2016	308-1	環境基準により選定した新規サプライヤー	重点テーマ4.取引先との協働	サステナビリティ調達の推進	P24
	308-2	サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	重点テーマ4.取引先との協働	サステナビリティ調達の推進	P24
GRI 414： サプライヤーの社会面のアセスメント2016	414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	重点テーマ4.取引先との協働	サステナビリティ調達の推進	P24
	414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	重点テーマ4.取引先との協働	サステナビリティ調達の推進	P24
GRI 407： 結社の自由と団体交渉2016	407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	省略　情報が入手困難 2018年度、結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のあるサプライヤーについては確認できませんでした。なお2019年1月に公表したサプライチェーン方針に基づき、リスクマネジメント手法についても検討を行っています。	-	-
GRI 408： 児童労働2016	408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	省略　情報が入手困難 2018年度、児童労働事例に関して著しいリスクがあるサプライヤーについては確認できませんでした。なお2019年1月に公表したサプライチェーン方針に基づき、リスクマネジメント手法についても検討を行っています。	-	-
GRI 409： 強制労働2016	409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	省略　情報が入手困難 2018年度、強制労働事例に関して著しいリスクがあるサプライヤーについては確認できませんでした。なお2019年1月に公表したサプライチェーン方針に基づき、リスクマネジメント手法についても検討を行っています。	-	-
重点テーマ5：地域社会との共生 NPO、NGOとのエンゲージメント					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ5.地域社会との共生	優先的に取り組むべき課題	P25
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ5.地域社会との共生	マネジメント手法	P25
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 413： 地域コミュニティ2016	413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	重点テーマ5.地域社会との共生	地域社会とのエンゲージメント	P25
	413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト（顕在的、潜在的）を及ぼす事業所	重点テーマ5.地域社会との共生	環境保全への取り組み	P26
GRI 203： 間接的な経済的インパクト2016	203-1	インフラ投資および支援サービス	重点テーマ5.地域社会との共生	地域社会の発展に向けた支援	P26
	203-2	著しい間接的な経済的インパクト	重点テーマ5.地域社会との共生	地域社会の発展に向けた支援	-
重点テーマ5：地域社会との共生 生物多様性の保全					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ5.地域社会との共生	優先的に取り組むべき課題	P25
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ5.地域社会との共生	マネジメント手法	P25
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 304： 生物多様性2016	304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	重点テーマ5.地域社会との共生	生物多様性保全の取り組み	-
	304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	省略　該当せず 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイトは存在しないことを確認しています。今後も生物多様性価値が高いとされている国・地域で操業する場合においては、リスク分析を行い、予防原則アプローチで生物多様性保全に取り組みます。	-	-

GRIスタンダード	開示事項		開示場所	Web版URL	冊子版（PDF版）ページ
	304-3	生息地の保護・復元	省略　該当せず 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイトは存在しないことを確認しています。今後も生物多様性価値が高いとされている国・地域で操業する場合においては、リスク分析を行い、予防原則アプローチで生物多様性保全に取り組みます。	-	-
	304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	省略　該当せず 保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイトは存在しないことを確認しています。今後も生物多様性価値が高いとされている国・地域で操業する場合においては、リスク分析を行い、予防原則アプローチで生物多様性保全に取り組みます。	-	-
重点テーマ6：安全で健康的な職場づくり グローバル水準の労働安全管理、労働衛生管理					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	優先的に取り組むべき課題	P27
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	マネジメント手法	P27
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 403： 労働安全衛生2018	403-1	労働安全衛生マネジメントシステム	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	方針	P27
	403-2	危険性(ハザード)の特定、リスク評価、事故調査	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	安全な職場づくり	P27
	403-3	労働衛生サービス	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	健康経営の取り組み	P28
	403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	活動推進体制（2019年4月現在）	P27
	403-5	労働安全衛生に関する労働者研修	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	安全教育プログラムの充実	P28
	403-6	労働者の健康増進	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	健康経営の取り組み	P28
	403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	健康経営の取り組み	P28
	403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	方針	P27
	403-9	労働関連の傷害	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	安全な職場づくり	P28
	403-10	労働関連の疾病・体調不良	重点テーマ6.安全で健康的な職場づくり	健康経営の取り組み	P28
重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化 コーポレートガバナンスの強化					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	優先的に取り組むべき課題	P29
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	マネジメント手法	P29
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
- 企業理念の浸透	-	企業理念の浸透	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	理念の浸透	P31
重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化 コンプライアンス最優先意識の浸透向上					
GRI 103： マネジメント手法2016	103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	優先的に取り組むべき課題	P29
	103-2	マネジメント手法とその要素	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	マネジメント手法	P29
	103-3	マネジメント手法の評価	重点テーマ7：ガバナンス・コンプライアンスの強化	CSRの重点テーマにおけるガバナンス機関の役割	P30
GRI 205： 腐敗防止2016	205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	腐敗防止の取り組み	P32

GRIスタンダード	開示事項		開示場所	Web版URL	冊子版（PDF版）ページ
	205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	腐敗防止の取り組み	P32
	205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	腐敗防止の取り組み	P32
GRI 206： 反競争的行為2016	206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	反競争的行為禁止の取り組み	-
GRI 307： 環境コンプライアンス2016	307-1	環境法規制の違反	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	環境および社会経済分野における法規制遵守の状況	-
GRI 419： 社会経済面のコンプライアンス2016	419-1	社会経済分野の法規制違反	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	環境および社会経済分野における法規制遵守の状況	-
GRI 418： 顧客プライバシー2016	418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	重点テーマ7.ガバナンス・コンプライアンスの強化	環境および社会経済分野における法規制遵守の状況	-